

諏訪中央病院 初期研修のご紹介

INFORMATION OF JUNIOR RESIDENCY

目次

1. 諏訪中央病院について
2. 初期研修プログラム
3. すわちゅうの歩き方

総合診療科編

01

諏訪中央病院について

「優しく」「温かい」「確かな」医療

諏訪中央病院の概要

八ヶ岳の麓にある あたたかな急性期病院

1950年に誕生

茅野市・原村・諏訪市の共同運営

360床の中規模急性期病院



諏訪中央病院の特徴

すべての病院機能が揃う

一つの病院に急性期/ICU、包括、療養、回復期リハ、PCUが揃う
救急から退院まで主治医でいられる

断らない救急・初診外来

原則として救急車は全例受け入れ
多彩な症例経験を詰む
研修医から総合診療科初診外来担当

地域に根ざした医療

診療所研修は必修
病院を取り巻く環境にも深く関わる
真の地域医療を実践

教育の伝統

屋根瓦式のチーム構成
毎日開催されるカンファレンス
振り返りの文化

02

初期研修プログラム

八ヶ岳の裾野のように幅広い臨床力を身につける

初期研修プログラムのポイント

主担当医

内科系診療科では原則主担当医として患者を担当
自ら悩み、考えて、力を磨く

Generalist力

総合診療科を中心とした内科研修が充実
外科、整形外科、麻酔科も含めた総合力を養う

教育の伝統

専攻医教育を含めた屋根瓦式のチーム医療
カンファレンスや振り返りの文化が充実

ローテーション例

	春	夏	秋	冬
1年目	小児科9W 総合診療科4W	総合診療科4W 呼吸器内科4W	呼吸器内科4W 夏休み1W	精神科4W 救急5W 整形外科8W
2年目	麻酔科9W 救急4W	産婦人科4W 見学休み1W	自由選択 (内科)16W 夏休み1W	診療所研修5W 自由選択11W



1年目は決定したローテーションから選択
2年目は内科は選択内科が16週、自由な選択が11週あります

入職時オリエンテーション

合計2週間のオリエン

1週目：全新入職員合同研修
接遇から倫理、地域までをと
もに学ぶ

2週目：医師として働く上の
共通知識や手技を学ぶ

5月までは各病棟で朝採血実習



諏訪中央病院の教育

昼カンファレンス

毎日11:45-13:00

司会は専攻医以上

日常診療に役立つ「前座」と

経験症例のディスカッション

→ 上級医の考え方を疑似体験



諏訪中央病院のカンファレンス

内科カンファ

悩んでいる・勉強になった症例の共有/相談の場
プレゼンのトレーニングの場でもある

ケースカンファ

2ヶ月に1回、各内科が持ち回りで担当
一つの症例を深く掘り下げて、講義とともに学ぶ

水曜勉強会

救急や初診外来の各種知識を週1回レクチャー
Commonな症候・疾患から地域特異的な疾患まで

諏訪中央病院の勉強会

コンサル

感染症、膠原病、神経内科、集中治療の4分野で
院外講師を招いてほぼ毎月何らかのコンサル/講義

教育回診

総合診療など各種分野の指導医を招聘
レクチャーや“症例対決”でトップランナーを感じる

抄読会

有志で勤務後に診断学の勉強会やNEJMの抄読会も
学ぼうとすればどこまでも学べる環境

初期研修修了後の進路

	2024	2023	2022	2021	2020	2019
当院 内科専攻医	1	1	1	2	1	1
当院 総診専攻医	2	0	0	1	0	1
他院	1 (内科)	4 (外科/小 児/形成/ 産婦)	3 (精神/ 家庭医2)	2 (内科/外 科)	4 (内科/精 神/整形/産 婦)	3 (内科2/ 小児)

内科/総診志望だけでなく幅広い研修医が集まる

各科常勤医師数（内科各科 / 研修医口一テ科）

	循環器	呼吸器	消化器	腫瘍	膠原病	外科	整形外科	小児科	麻酔科
スタッフ (専門医~)	4	3	4	2	3	5	3	3	4
フェロー (~専門医)	1	1	1	1	1	0	3	1	0
専攻医	内科：7名 総診：8名								

2024年1月現在

03

すわちゅうの歩き方

総合診療科でどのように研修医は働くのか？

総合診療科の体制(2023年5月)

	リーダー	スタッフ	スタッフ	専攻医	研修医
Aチーム	呼吸器内科医	家庭医	消化器内科医	内科3年 院外4年	院外2年
Bチーム	家庭医	神経内科医	腎臓内科医	内科3年 院外4年	1年
Cチーム	総診・家庭医	内科/救急医	神経内科医	院外4年	1年
ICUチーム	総診・家庭医			総診3年 総診3年	

多彩なバックグラウンドを持つ医師が集まる：幅広い症例への対応力を養う
屋根瓦式のチーム構成：レクチャーとバックアップの質を担保

内科入院患者概数(2023年5月)

総合診療科：110人

循環器内科：20-30人

呼吸器内科：20-30人

消化器内科：20人

腫瘍内科：15-20人

膠原病内科：10人

総合診療科入院となる疾患

感染症：敗血症、皮膚軟部組織、感染性心内膜炎、髄膜炎、肺炎、尿路感染症など

神経：脳梗塞、てんかん、末梢神経疾患など

循環器：軽度の心不全増悪など

腎内分泌：血糖異常、電解質異常、腎不全など

その他：不明熱精査、疼痛精査など

総合診療科が各科と連携しながら幅広く診療を行うことで、
専門科が専門科らしく医療を提供できる

初期研修医のある1週間：総合診療科

	月	火	水	木	金	土日
朝	医局会	科カンファ	救急勉強会		科カンファ	待機業務 (月4回) 日直 (2年) 当直 (1年) いずれも 月1-2回
午前	チームカンファレンス：新入院を主に担当 リーダーや専攻医と入院患者の治療方針を協議					
午後	担当患者の 内視鏡見学	家族と治療 方針を面談	午後救急/ 初診外来		退院後訪問 診療に同行	
夕方	内科 カンファ			当直 (23時まで)		

総合診療科での入院

ERから在宅までを診る

週1回の午後救急外来業務

救急車で突然の左片麻痺を主訴とする

高齢男性が搬送

→ERで1st touch

指導医と一緒に診察：脳梗塞と診断

t-PA適応と判断し治療開始

ICU入室となりそのまま主治医を担当



総合診療科での入院

ERから在宅までを診る

集中治療科チームや神経内科と協力し
ICUで治療を行い、幸い症状は改善も
軽度の麻痺が残った

→リハビリのため回復期病棟へ転棟
主治医は継続し薬物療法などを管理

また、自宅退院に向けた準備を、ソー
シャルワーカーと協力して行った



総合診療科での入院

ERから在宅までを診る

退院後は、麻痺で自動車運転が困難であり訪問診療の方針となった

→総合診療科スタッフ医師が訪問主治医となったが、毎回同行することに

患者さんや家族も、入院時から同じ医師がずっと関わってくれていることに安心を覚えていた



00

補足

細かいハード/ソフト情報

待遇面について

月額給与

1年目337,900円(賞与 760,000円/年)
2年目378,800円(賞与 850,000円/年)

各種補助

家賃（9万円まで）の85%の住宅補助
引っ越し代・暖房代・カーテン代の支給あり
学会参加/交通費補助は年3回目まで

当直・休日

新働き方改革に完全準拠
休日・時間外出勤はすべて超勤処理

待遇面について

医局

個人デスク・個人用電子カルテ端末（！）貸与
スクラブ/白衣も貸与 1-3年のみの研修医室あり
医局は3時におやつが出ます

育児

院内託児室あり
時短・当直回数・ローテ科など個人ごとに調整OK

待遇面について

休暇

土日祝日は休診

夏季休暇は有給と組み合わせて1週間取得可能

2年目には進路選択のための見学休暇を1週間取得可能

毎年2月に研修医休暇2日間：研修医旅行へ

→他施設から来た研修医とも一緒に旅行！



診療体制について

常勤診療科

総合診療科（救急・集中治療科/神経内科/腎臓内科/緩和ケア科のスタッフを含む）

循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 腫瘍内科

リウマチ・膠原病内科 東洋医学科 リハビリ科

一般外科/乳腺血管外科 整形外科 脳神経外科

麻酔科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科口腔外科

小児科 産婦人科 精神科 放射線科 病理診断科

非常勤診療科

血液内科 内分泌内科 泌尿器科 形成外科

呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科

専攻医終了後進路

当院で研修可能な サブスペシャリティ

循環器専門医 消化器内視鏡専門医 消化器病専門医
呼吸器専門医 神経内科専門医 リウマチ専門医

家庭医療専門医 在宅医療専門医 緩和医療専門医

漢方専門医 がん治療認定医 心血管インターベンション

新専門医制度移行後 専攻医後の進路

1年目：院内フェロー3名（内科1、総診2）
2年目：院内フェロー3名（内科2、総診1） 院外2名
3年目：院内フェロー4名（内科1、総診3）
4年目：院内フェロー3名（内科2、総診1）
院外4名（内科2、総診2）

茅野市について



ACCESS

東京から特急あずさで2時間
名古屋から特急しなので3時間（高速道路なら2時間半）
松本市まで車で30分、長野市まで1時間弱

OFF

標高1000mクラスなので冬は寒いですが豊かな自然
オフには登山やウィンタースポーツを楽しめます



見学・WEB説明会はお気軽に



0266-72-1000(内線 1559)



kensyu@suwachuo.jp



長野県茅野市玉川4300